

日本初 体調不良による業務生産性低下率測定プログラム

「mimoza WLQ-J」の販売開始

株式会社損保ジャパン・ヘルスケアサービス(社長 小澤正彦 以下「SJHS」)は、個人の心身の健康状態が業務の生産性に与える影響度を定量的に測定することを可能とする我が国初のプログラム「mimoza WLQ-J(※1, 2)」の販売を2011年1月14日から開始しました。

1. 開発の背景

従業員の健康問題による業務生産性の低下に関しては、従業員の欠勤や休職などによる低下である「アブゼンティーイズム」よりも、従業員が体調不良のまま出勤している場合の低下である「プレゼンティーイズム」の方が、はるかに影響が大きいとの指摘がされています。米国の研究によると、プレゼンティーイズムによる業務生産性低下は、アブゼンティーイズムによる場合の3倍以上と報告されています(※3)。

プレゼンティーイズムによる影響を、算定式により数値化して業務生産性低下率を測る手法は確立されていませんでしたが、1998年に米国タフツ大学医学部D・ラーナー博士らが開発したWLQ(Work Limitations Questionnaire)がそれを可能にしました。WLQは、米国をはじめとする各国で、医学・健康の研究のみならず企業等でも広く活用されており、現在、30以上の言語に翻訳されています。そこで、SJHSは、タフツ大学の許諾を得て、2010年6月に株式会社損害保険ジャパンとともにWLQ日本語版「mimoza WLQ-J」を開発し、このたび、これを新サービスとして販売開始することとしました。

2. 「mimoza WLQ-J」の内容

体調不良による業務生産性低下率の測定を可能にする、我が国初のアセスメント・プログラムです。

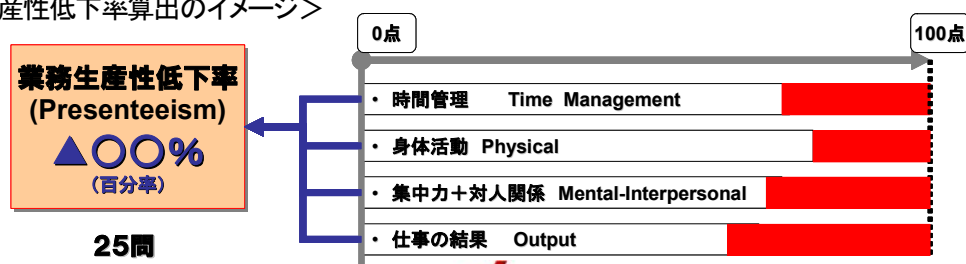
(1) 調査の実施: 対象者(従業員の皆さま)に、質問票に回答していただきます。

- ・PC及び携帯端末による調査の実施が可能。
- ・質問項目はわずか25問。回答所要時間は約5分間。(短縮版は8問)
- ・質問は、業務の生産性を支える4つの尺度(「時間管理」5問、「身体活動」6問、「集中力・対人関係」9問、「仕事の結果」5問(※4))で構成されています。
- ・回答は、体調不良によって職務が遂行できなかった時間の割合や頻度を、「常に支障があった」～「まったく支障はなかった」の5段階、及び「私の仕事にはあてはまらない」から選択する自己記入式。

(2) 結果の報告: 組織ならびに個人(オプション)に結果をフィードバックします。

- ・業務生産性低下率を数値(%)で算出。
- ・4つの尺度ごとの業務生産性低下のレベルを把握することが可能。
- ・業務生産性低下率を人件費に乗ずることで、体調不良により失われた人件費を損失コストとして把握することも可能。
- ・組織全体と組織別、性別、年代別の集計結果が提供されます。
- ・調査票は信頼性・妥当性が確認されています。

<業務生産性低下率算出のイメージ>



3. 「mimoza WLQ-J」の活用例

「mimoza WLQ-J」による調査結果は、経営や人財マネジメントにおける主要な経営指標や人財投資に関する施策の効果検証等様々な活用方法があります。具体的な活用例は下記のとおりです。

(1) 経営での活用

メンタルヘルス対策など従業員の健康の維持・増進施策の結果を労働生産性の観点で評価することが可能となります。

⇒経営では、投資の意思決定及び効果検証を行う為の具体的な根拠として活用できます。

(2) 人事部門での活用

「mimoza WLQ-J」とストレス調査、従業員満足度調査などの各種調査の結果と併せて分析することにより、介入が必要な組織を抽出することが可能となります。

⇒人事部門では、組織の活性化に向けた効果的な施策の立案と、その効果検証に活用できます。

(3) ライン組織での活用

従業員の健康問題による業務生産性低下率を、数値で把握することが可能となります。

⇒各組織では、従業員の労務管理を業務生産性の観点から行うことが可能となります。

(4) 産業保健部門での活用

従業員の健康状態が業務生産性にどの程度影響を与えているかの評価が可能となります。

⇒健康問題にリスクのある従業員へ早期に介入することで、効果的な予防活動に活用できます。

4. サービス料金

対象者1,000人の場合、50万円。

* 対象者数により異なります。

以上

※1 WLQ-Jは、WLQ(Work Limitations Questionnaire)の日本語版です。(日本語版作成:株式会社損害保険ジャパン) Work Limitations Questionnaire, © 1998, The Health Institute, Tufts Medical Center, Inc.; Debra Lerner, Ph.D.; Benjamin Amick III, Ph.D.; and GlaxoWellcome, Inc. All Rights Reserved.

※2 mimoza シリーズは、メンタルヘルスに関する予防・不調者対応・休職者対応・復職支援・メンタルヘルスクア体制構築等、企業・組織の各課題にカスタマイズ可能なSJHS独自開発のサービスラインアップです。

※3 ポール・ヘンプ, 「プレゼンティーズムの罠」, Diamond Harvard Business Review, December 2006,54-65

※4 4つの尺度とは、具体的には以下①～④のとおりです。

①時間管理…勤務時間や始業時刻等の決められた時間の管理に対して、健康上の問題が影響を与えている度合いを表します。

②身体活動…業務に必要な動作や作業に対して、健康上の問題が影響を与えている度合いを表します。

③集中力・対人関係…集中力とは、仕事への集中力に対して、健康上の問題が影響を与えている度合いを表します。対人関係とはコミュニケーションに対して、健康上の問題が影響を与えている度合いを表します。

④仕事の結果…予定や期待通りに仕事の結果を出すことに対して、健康上の問題が影響を与えている度合いを表します。

<本件に関するお問い合わせ先>

株式会社損保ジャパン・ヘルスケアサービス サービス開発部 寺坂、小林(TEL:03-3349-9205)

ヘルスケア研究所 井田 (TEL:03-3349-9205)

【会社概要】

社名 : 株式会社損保ジャパン・ヘルスケアサービス

設立 : 2007年4月2日

資本金等 : 7.9億円(資本金4.95億円、資本準備金2.95億円) (株式会社損害保険ジャパン 100%出資)

所在地 : 東京都新宿区西新宿1-26-2 新宿野村ビル10F

電話番号 : 03-3349-4923

代表取締役 : 小澤 正彦

事業内容 : メンタルヘルス対策プログラムおよびメンタルヘルスクアの各種支援ツールの研究・開発

企業のメンタルヘルス対策に関する産業保健体制の支援

企業のメンタルヘルス対策に関連した制度構築等に対するコンサルティング業務